

http://nakayashiki.net/ **がんばろう日本! 負けないで東北!**

チャレンジ通信

埼玉県議会自由民主党議員団

なかやしき慎一

弥生に思う

三月を迎えて少しずつ温かさも増してきました。いつもの年なら、梅の花がほころんだとか、桜の開花はまだかな?とか春を心待ちにしている時期ですが、四年に一度の節目を迎える今年は、なかなかさうもいきません。

この通信が市民の皆様にく頃は、街の中もだいたい騒がしくなっている事でしょう。

皆様におかれましては、寛容な心でお許しいただくと共に目を見張り、耳をそばだてていただければ幸いです。

さて、私も県議会自由民主党議員団の一員として数カ月が過ぎました。今、国政と真つすぐに繋がる責任政党・責任会派の一員になったことに、強い責任を感じています。そして、今後はもっとそれを活かし、今まで以上に、国、県、市の繋がりを強めて行けるよう懸命に務めて参ります。



討議資料

発行者 県議会議員 中野敏一
〒365-0039 埼玉県東3-11-18-103号
TEL 048-541-8110 FAX 048-541-0256



2月定例会 主な内容

今任期最後の2月定例会は、3月13日、2015年度一般会計当初予算のうち「河川堤防へのメガソーラー設置に向けた調査費」約2100万円を削除し、予備費に付け加える修正案を自民党派が提出し、賛成多数で可決しました。当初予算の修正は戦後初めてのことですが、利根川の強化堤防にメガソー

ラー設置に向け整備工法などを調査するとした事業について、「許可権者の国は設置に慎重」「設置による堤防の安全性の担保がとれていない」との自民の指摘に対して、「今回は堤防の安全性を担保出来るかどうかの調査」「修正するまでの内容ではない」などの他会派の反対もありましたが、自民の賛成多数で修正案は可決しました。

これについて上田知事は、「国土交通省の本省との詰めの話が十分でなかった。」「甘んじて受け止めた」と述べたうえで、国交省との設置に向けた協議が整えば、再度事業提案する意向も示しています。立ち位置や考え方によって受け取り方は様々だと思いますが、これも予算立案

時における、議会としての県政へのチェック機能の行使といえるのではないのでしょうか!

他の代表的な議案としては、わが市でも多くの利用者がいてくれたであろう、県青少年総合野外活動センター(秩父市)の廃止を求める条例案やスポーツ局の新設に伴う条例改正案など計85議案を可決同意しました。

また、左の表にあるように、議員提出の議案として、深刻な社会問題である危険ドラッグの取り締まりに関して、自民党派でしっかりと検討を重ねてきた「埼玉県薬物の濫用防止に関する条例」の制定と振り込め詐欺への対策強化に向けた「埼玉県防犯のまちづくり推進条例」の一部改正も成し遂げました。

第10回 埼玉県議会議員 なかやしき慎一 県政報告会



3/8の県政報告会に原口市長も激励に駆けつけてくださいました。

自民県議団PTで検討を重ね 危険ドラッグ条例創設・防犯条例の 改正を提案・制定

危険ドラッグ取り締まり強化の必要性が叫ばれるなか、自民県議団はプロジェクトチームで検討を重ね、県議会2月定例会に「危険ドラッグ条例」を提案しました。覚せい剤と並ぶ、新たな二大問題薬物となっており、しっかりと取り組んでまいります。

あわせて、未だに被害が続発している振り込め詐欺への対策強化のため、「防犯のまちづくり条例」の一部改正も提案しました。



医師確保・医療充実は切実な願い 医師不足を抜本的解決へ 医大附属病院 誘致実現へ

自民県議団が進めていた順天堂大学付属病院の県内誘致が進んでいます。これにより県内に医学系大学院を併設し、県内で医師の養成を実現し、医師不足を抜本的に解決していきます。

編集後記

弥生3月も今日は19日。午前中に幼稚園の卒園式にお邪魔しました。元気一杯の卒園生の歌声に来賓である私の方が元気づけられた気がします。この子供たちが健やかに、伸びやかに成長していける埼玉県にしたいかなければと改めて強く決意しました。しかし、日々は、矢のように過ぎて行きます。今日現在の心境としては、「早く春になれ」と思う気持ちと、「もう少し時間をくれ〜」との気持ちが交錯しています。 慎一



2/13 自民党谷垣幹事長訪問

自民提案の政策推進へ

27年度新規予算は 自民重要課題に重点配分

県は2月定例会に平成27年度当初予算(案)を発表。県の重要課題に重点配分した、自民党県議団が提案・要求していた政策を推し進める内容となっています。中でも注目すべき事業について、新規事業を中心にご報告します。

地方創生元年。 地域主体で活性化推進へ

新 地域の未来を考える政策プロジェクト会議を設置
.....466.4万円
※政府が進める地方創生事業に対応するためのプロジェクト会議を設置。
自民党埼玉県連では「地方創生統合本部」を創設。県を後押ししてまいります

スポーツを軸に元気を創造 する埼玉へ

2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え
新 東京オリンピック・パラリンピック開催準備.....4,812.8万円
※基本計画の策定、準備委員会の設立、キャンプ誘致に関する県内調査、市町村・競技団体等との連絡会議の開催など。
新 文化プログラム育成プロジェクトの推進.....1,769万円
※郷川幸雄氏総合演出による大群像劇の企画、参加者オーディションの実施など。
新 外国人観光客の100万人誘致の促進.....3,361.1万円
※東京オリンピック・パラリンピックを契機に、外国人観光客を誘致するためのPTを設置し、強力な海外プロモーションなどを実施。
新 埼玉スタジアム2002の大規模改修の前倒し実施.....10億9,186.8万円
新 ラグビーワールドカップ2019に向けた開催準備.....4億2,628.5万円
新 スポーツを活用した地域振興の推進.....6,688.9万円
※国際女子マラソン大会をさいたま市と共催しイベントブース等を開設。県内のスポーツ情報ポータルサイトの開設。スポーツ関係団体との連携強化など。
新 大規模警備に向けた危機管理体制の基盤を強化.....3,207.5万円

元気な地域を実現。豊かで 住みよい埼玉へ

インフラ整備で地域活性化へ
新 東京都との連携による道路整備の促進.....10億4,700万円
● 幹線道路ネットワークの整備.....約59億6,000万円
優良企業誘致の推進
新 産業用地開発の促進.....697.7万円
※先端産業企業の立地ニーズと産業用地開発に積極的な市町村の開発ニーズとのマッチングを図るため、開発候補エリアの選定や先端産業企業等へのアンケート調査などを実施していく。
● 産業立地促進の助成.....約16億3,000万円
※県内に立地する企業に対する不動産取得税相当額の助成
新 物流効率化の推進.....3,714.9万円
積極経営の中小企業を応援
新 中小企業の経営力向上.....3,765.8万円
新 中小企業向け海外レンタル工場の提供.....1,409.5万円
※ベトナムに進出を希望する県内中小企業にレンタル工場を提供。
● 中小企業制度融資の充実.....融資枠：3,600億円
人材確保・人材育成
新 人材不足分野における人材の育成.....約1億2,800万円
新 生活困窮者の自立支援.....1億3,743.7万円
新 ウーマノミクスプロジェクトの推進.....約137億8,400万円
新 女性起業家や女性経営者への金融支援.....融資枠：100億円
地域商店街の強化
新 黒おび商店街応援事業.....1,717.7万円
※黒おび商店街の取り組みに対する補助金創設。黒おび商店街サミットを通して取り組みを県民にPR。
新 ひんなで商店街に行こう！キャンペーン推進事業.....956.5万円
未来のエネルギー普及
新 次世代エネルギー「水素」社会への発進.....2億3,033.7万円
※FCVの導入支援。水素ステーション整備。水素利用拡大の可能性調査
農林業の競争力アップ
新 水田フル活用の推進.....1,850万円
※平成30年の米政策の見直しに向け、主食用米と飼料用米などを組み合わせた農業所得の最大化が図れるよう支援。
新 皆伐から始める森の若返り強化.....1億3,173.2万円
※皆伐から地狩、植栽、害獣対策、保育までを一貫して行う森林組合などを支援。

迫り来る少子高齢化を見据え、 実効性ある対策を

子育て・教育の埼玉へ
新 SAITAMA出会いサポート事業.....595.6万円
※婚活イベントを支援。婚活支援ネットワーク化を推進。
新 国の経済対策を活用した出産・子育ての応援.....2億4,742.1万円
※多子世帯保育料軽減事業。県民意識調査事業など。
新 男性不妊治療費助成制度を創設.....4,129.2万円
新 多子世帯のための住居支援.....8,610万円
※多子世帯による住宅リフォームの経費の一部を助成。県営住宅の多子世帯向け改修など。
新 保育所持機児童対策の推進.....約88億2,900万円
※保育所持機児童の解消を図るため、6千人の保育サービス受入枠の拡大
超高齢化への医療・介護整備
新 在宅医療体制の充実支援.....4億9,319.1万円
※在宅医療・在宅歯科医療・在宅薬剤提供体制の整備
● 特別養護老人ホーム等の整備促進.....約31億3,700万円

伝統文化を尊重しグローバル 化に対応、教育の埼玉へ

確かな学力の育成
新 未来を拓く「学ぶ」プロジェクト.....500万円
※生徒が主体的・協同的に学ぶ「協調学習」をさらに発展させ、時代に応え未来を拓く人材を育成。
伝統文化を尊重しグローバル化に対応する教育の推進
新 県立高校グローバルリーダー育成塾.....3,668.3万円
※県立高校生50人を米国のハーバード大学・マサチューセッツ工科大学へ派遣。国際感覚を備えた人材育成を図る。
新 「埼玉ハッシン！」グローバルキッズ育成事業.....320万円
※伝統文化を内容とした公開授業の実施や映像資料の配信を行い、教員の指導力向上を図る。

STOP 危険ドラッグ、振込め詐欺ストップ。 安心・安全の埼玉へ

新 危険ドラッグ対策の推進.....1,330.8万円
※販売店への立入・買上検査体制の強化など。
新 振り込め詐欺シャットアウトプロジェクト.....4,738万円
※特殊詐欺撲滅決議を提案し議決(平成26年6月定例会)今議会で、自民県議団として防犯条例の改正を提案
● 通学路の安全対策の推進.....約2億8,500万円
通学路の安全対策は喫緊の課題として取り組んでいます
新 警察官の増員.....1億9,332.9万円
一貫して増員を要望。4年間で全国一の増員を実現
※政令定数の増61人、条例定数11,335人→11,396人。

医療体制強化・医師不足を解決し、 安心・安全の埼玉へ

新 在宅超重症心身障害児の家族に対するレスパイトケア事業.....5,626.2万円
※家族の精神的・身体的不安を軽減するため、対象児をショートステイ及びデイサービスで受け入れる施設を支援。
新 医科大附属病院及び医学系大学院の整備.....157.2万円
※埼玉育ちの医師を育成し、医師不足の抜本的解決を図る。
小児医療センター移転で浮き彫りに、家族の負担を軽減するための施策を要望
順天堂大附属病院の誘致を自民が中心になり推進
医学系大学院を併設し医師の育成を進めていきます